

施策評価シート

施策等名称	多様な森林整備及び環境保全の推進	体系番号	0401010201
		主管課	農林課

1 施策基本情報

現状と課題	<p>将来に渡り、持続可能な森林を形成していくには、未整備森林の間伐等による整備は不可欠です。しかし、近年では森林所有者の高齢化や不在村所有者の増加また、長引く木材需要の低迷により間伐等の手入れがなされず放置された森林が増加している。</p> <p>このような状況から、貴重な財産となる森林を今後も継続して維持するには、森林に対する住民の意識向上を目的とした「見える森林整備」の推進が必要と考える。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>最初は、生活に身近な里山をステージに、下草や藪払いなどの作業に住民が自ら携わり、景観や環境の向上が図られることで、これまで山に対し関心の少なかった住民にも森林に目を向けるようになる。</p> <p>森林の持つ多面的機能を住民誰もが理解したうえで、整備に取り組む。</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	森林整備、環境整備の地域への説明会実施件数	主に森林整備推進のための地域への説明会(年間3回)環境整備については、随時役員に説明する。	年2回	15回
②	整備実施面積	林業振興ビジョンにおいて、搬出間伐100ha、切捨て間伐20ha、環境整備10haを実施目標としている。	森林整備で年間70ha	650ha
③				

施策の柱	名称	多様な森林整備及び環境保全の推進		主管課	農林課		
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	森林整備、環境整備の地域への説明会実施件数	主に森林整備推進のための地域への説明会(年間3回)環境整備については、随時役員に説明する。	年2回	15回	1 森林整備事業	実施
	2	整備実施面積	林業振興ビジョンにおいて、搬出間伐100ha、切捨て間伐20ha、環境整備10haを実施目標としている。	森林整備で年間70ha	650ha	2	
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						
	施策の体系	名称			主管課		
		詳細					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
		1				1	
		2				2	
3					3		
					4		
					5		
					6		
基本政策間連携							
施策の柱		名称			主管課		
		詳細					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
		1				1	
		2				2	
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						

施策等名称	多様な森林整備及び環境保全の推進	体系番号	0401010201
		主管課	農林課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	森林整備、環境整備の地域への説明会実施件数	年2回	0.00				
		15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	今年度は新規事業の修景林間整備を軌道に乗せることに重点を置いたため、広範囲に渡る間伐等の整備のための新規に同意集約が必要な住民説明会は行っていない。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	整備実施面積	70.00	103.00				
		650.00	15.85	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	昨年集約手続きを行った個人有林の里山整備の実施面積が広範囲であったことや、森林の環境整備となる修景林間整備の実施により整備面積が増の結果となった。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	森林整備、環境整備の地域への説明会実施件数	年2回					
		15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	今年度は新規事業の修景林間整備を軌道に乗せることに重点を置いたため、広範囲に渡る間伐等の整備のための新規に同意集約が必要な住民説明会は行っていない。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	整備実施面積	70ha	103.00				
		650.00	15.85	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	昨年集約手続きを行った個人有林の里山整備の実施面積が広範囲であったことや、森林の環境整備となる修景林間整備の実施により整備面積が増の結果となった。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	多様な森林整備及び環境保全の推進	体系番号	0401010201
		主管課	農林課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	15,848,319	29,902,000 1.89			
	うち一財(円)	14,063,319	19,117,000 1.36			
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業となる森林の環境保全を目的とした修景林間整備が地域の理解と協力のもと、ある程度軌道に乗ったと考える。 ・昨年度地元説明会を行い同意集約手続きを行った範囲が広範囲であったことから、整備面積の増が見込めた。 				
	課題	森林整備に対する住民の関心に地域で温度差がある。整備の重要性のPRが必要。				
改革・改善	改革・改善内容	財産区や林野組合等の団体有林また、個人有林の整備が必要な森林の抽出作業の実施。その所有者に対し整備の推進を促す。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事務事業	1			
理由	積極的な整備の推進を図るため。					

作成担当者	鎌倉 亮			
最終評価責任者	五味正忠			
最終評価年月日	2019年5月31日			